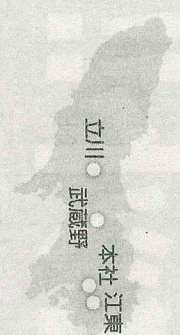


# 都民

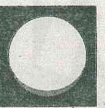


都内版編集室 〒100-8055  
 千代田区大手町1の7の1  
 読売新聞東京本社内  
 電話 03(3217)1465・1466  
 FAX 03(3217)1468  
 tomih@yomiuri.com  
 江東支局 電話03(3631)6116  
 武蔵野支局 電話0422(51)3131  
 立川支局 電話042(523)4477  
 ホームページ  
<http://www.yomiuri.co.jp/local/>

購読は  
**0120-4343-81**

【広告】 読売エージェンシー  
 03(5226)9925  
 【折込チラシ】 0120-03-4343  
 【読売旅行】 03(5550)0666

2月24日(水曜日)  
 旧 1月17日<大安>



■ あすの暦  
 通日 55  
 月齢 15.5 (正午)  
 東京標準  
 満潮 6.03  
 干潮 17.48  
 12.01 (大潮)  
 2月 6.19  
 3月 17.31  
 4月 18.57  
 5月 6.53



桜を植樹する八代理紀さん(左から3人目)ら  
 関係者(22日、世田谷区の都立園芸高校で)

## 桜 先祖生まれた地へ 100年越し米から園芸高に

都立園芸高校(世田谷区)で22日、100年以上前に贈った苗木を日本に寄贈した桜を原木とした接ぎ木苗の植樹式が行われた。同校によると、1912年、当時の尾崎行雄・東京市長が、日露戦争をホッとして、当時のタフト米大統領に寄贈した桜を原木とした接ぎ木苗の植樹式が行われた。同校によると、1912年、当時の尾崎行雄・東京市長が、日露戦争をホッと農務員、夫が同校出身という歌手・八代理紀さんらから、苗木300本を贈る。この苗木の育成に、熊谷初代校長が関わっていた。米国の返礼として3年後の1915年、ハナミズキの苗木を日本に寄贈した。八代さんは「時を超えた桜の“里帰り”に立ち会えて感動している。植物の生

命力も実感した。生徒たちは、日々勉強している植物の力強さを身に付けてほしい」と話した。

園芸科2年の草川雪恵さん(19)は母校に伝統の桜が植樹されることは光栄。歴史のページに関わることもうれしいことで、卒業しても成長を見ていきたいと感激していた。